



2017 年の幕開けです。昨年中は、本校に対して、深いご理解と温かい応援をいただき、誠にありがとうございました。本年も、どうかよろしく願い申し上げます。

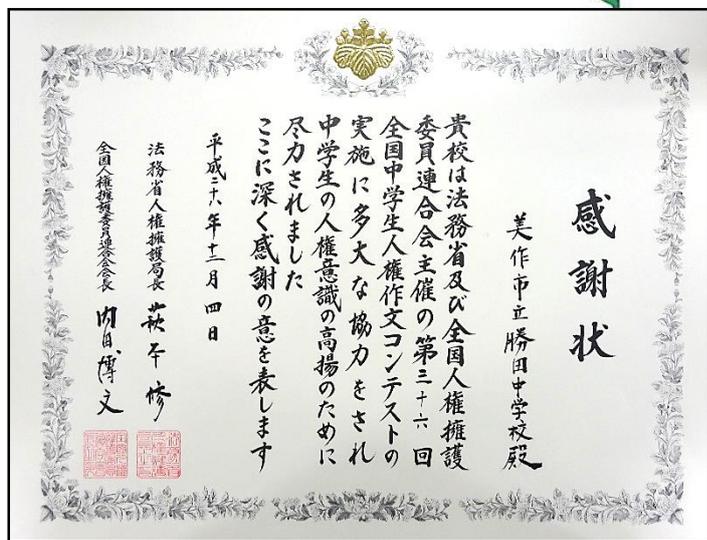
昨年末に発行された PTA 新聞『たかつえ』131 号にも書かせていただきましたが、2 学期は生徒たちの“ひたむき”な姿が校内外に輝いた学期でした。2 学期終業式に振り返りのプレゼンをしましたが、画面を見つめる生徒たちのまっすぐなまなざしとキラキラ輝いた表情が印象的でした。生徒たちも、自分たちがまじめに誠実にがんばってきたことに対する手応えを感じていたことが良く分かるひとときでした。



とのできる後輩になりましょう。

本年度は、教職員と生徒が一つになって人権教育の研究を進めました。日常生活の中でお互いがお互いを大切にして住みよい社会を築くために、自分たちができること、今やらなければならないことを考えてきました。いくら授業でいい発言や発表ができて、自分の暮らしの中で全く違うことをしていたのでは何にもなりません。「学ぶ」ということは、自分を「見つめ直す」ことであり、「出直す」ことでもあります。これは、生徒も教師も同じです。まずは学校の中から、課題を解決していく力、行動できる力を育てます。

本校では、意見文発表会やさまざまな人権学習の感想文を始めとして、自分の考えたことや気持ちを「書く」という活動を大切にしてきましたが、それを元に人権作文を書き、積極的に応募しました。その成果を認めていただき、法務省人権擁護局・全国人権擁護委員連合会から感謝状をいただきました。「書く」ことは、自分の意志を表明することです。一人一人の人権が守られ、一人一人の良さが発揮できる学校を実現するよう、一層、努力しなければなりません。



3 年生を立派に送り出すこと





寒風の中、彩りを添えています

2学期の終業式前日、生徒会執行部がパンジーを植えてくれました。冬は校内にも彩りが少なく、寒さを感じま

すが、ここだけは春の風が吹いているようです。冬の寒さを耐えてこそ、春に美しい花が咲きます。生徒会執行部のメンバーが寒さをものともせず植えてくれたパンジーが、3学期スタートの日に全校生徒を出迎えてくれました。今学期もたくましく美しく輝いて、学習に部活動に励みましょう。



ひたむき

から

ひらくへ



2016年の勝田中学校は、“ひたむき”を掲げて進みました。迎えた2017年、勝田中学校は生徒一人一人の未来を、夢を切り拓いていきます。

「^{ひら}拓く」ということは、開拓するという事です。耕す、原野を切り拓いて豊かな稔りを生み出すということです。生徒一人一人の学びの可能性を、夢の広がり求めて、土を耕すように、原野を開墾するように、自分を、互いを鍛えましょう。もちろん、私たち教職員も同じです。自分の可能性を信じて、自分を拓きましょう。

3年生の道を拓く

トップバッターはもちろん、3年生。4月からの新しい道を切り拓きます。15年間の集大成として、まずは義務教育という場を巣立ち、自分の責任と自覚を求められる社会へと、一步、踏み出します。この3学期は、最後の道を切り拓く時間です。3年生は悔いの無い中学校生活のまとめを、1、2年生は3年生の応援をすると同時に、自分の道を切り拓くための準備をします。

それぞれの学年にとって、意義の大きい3学期です。まずは、健康な心と体が基本です。「受験は団体戦」ということばがあります。道も一人では切り拓くことはできません。それぞれの学年が、それぞれの立場で自分を拓いてこそ、よりよい道が拓けます。勝田中学校で学ぶ一人一人が、健康な心身を創り上げながら、ひたむきに努力しましょう。



文化委員のおすすめ本コーナー

大掃除のひとこま、一生懸命に心も窓も磨く1年生の姿です。



職場体験のまとめを発表する2年生、自己表現の力がついています。

